

逗子の景観まちづくり

瓦版 第五十六号

平成二十九年七月十五日 次号は十月発行予定

編集 逗子市環境都市部まちづくり景観課

協力 NPO法人逗子の文化をつなぎ広め深める会

募集 逗子の景観スケッチや六百五十字以内の

景観に関するコラム等を募集しています。

二四九・八六八六

逗子市逗子五丁目二番十六号

「逗子市まちづくり景観課 瓦版係」

電話 〇四六・八七三・一一一一

ファックス 〇四六・八七三・四五二〇

machi@city.zushi.kanagawa.jp

「逗子海岸、水めぐり」

様々な人が、様々なことをしながら共にできる魅力ある場が、逗子海岸ではないでしょうか。私自身は、特に平日の夕暮れ時に黒門から渚橋付近で過ごすことが多くあります。



「みんなの海」 絵 福井颯人 (小学2年生)

春から夏にかけては富士山の北側へ、秋から冬にかけては富士山の南側へと太陽の沈む地点も移動していきます。一緒に過ごしている子ども達には、遊び回っている地点から見えるものの方角、風や海の動き等がじんわりと身体の中に落とし込まれていきます。

「ぼくは潮が引いているときの逗子海岸が好きだな」と小学二年生の男子から返ってきました。遠浅がつづくので、生き物を見たり、そして、波がある時は沖からゆっくり崩れてくるからだという、理由だそうです。

相模湾の奥深くの位置する逗子海岸は、波やウネリが穏やかな三浦半島の西向きの海岸でも、もつとも安定して優しくもあります。カヌーで沖へ出て、新港の防波堤の先にある赤灯を脇を抜けると伊豆大島がどんと見えます。ここが太平洋のプレートの上にある地で、伊豆半島が本州にぶつかり、丹沢の山々と三浦半島が隆起してきたことが想えば、ここは今も青色の中に浮かぶ、生命溢れる緑が活きていると感じます。実際、海岸の両脇にある披露山、桜山にもいくつかの水の筋が今も生きていますね。子ども達と海から山中にある水の筋を辿るこ



「光の道」 絵 福井颯人 (小学2年生)

とができるのもただただ楽しくもあるのですが、海、川、山そして町とすべてがつながっていることを、身体全体で感じています。

文 永井 巧

(一般社団法人そっか 共同代表)

※黒門II「黒門からチャークラブ」のこと。海沿いにある民家レンタルスペース

逗子散歩のすすめ

逗子郷土資料館—蘆花記念公園—

富士見橋となぎさ橋の間の道を入れて少し歩くと、蘆花記念公園があります。徳富蘆花の「自然と人生」の文章が書かれた立て札に導かれるように細い坂道を行くと、逗子市郷土資料館が見えてきます。

郷土資料館は大正元年に横浜の実業家の別邸として建築されたという木造平屋建て。その後徳川第16代家達の別邸として使われていたこともあるそうです。逗子市には昭和58年に移管されました。逗子にゆかりのある文学作品に関する資料、市内で使われていた民俗資料、市内の遺跡からの出土品などが展示されています。展示品だけでなく、昔ながらの柱や梁、窓などの建具なども、時間をかけてゆっくり見たいものです。

係のかたにお話を伺いました。逗子の古墳時代のこと、海運業で栄えた豪族がいたのではないかと鎌倉時代以前の逗子のこと。また夏目漱石や芥川龍之介といった文豪の裏話から、別荘が立ち並んでいたころの話などなど、感心したり笑ったり。いずれも興味深いことばかりでした。郷土資料館を訪れること楽しみは、ここから眺める景色にもあります。緑の向こうに逗子湾が広がり、その向こうには江の島、天候によっては富士山が臨めます。夏の喧騒を離れて緑を抜ける風を感じるこの場所を、散策コースに加えてみてはいかがでしょうか。



逗子市郷土資料館 場所:桜山8丁目 2275 [TEL:046-873-1741](tel:046-873-1741)

9時～16時 休館日:月曜(祝日の場合はその翌日)、年末年始

入館料:大人100円、小・中学生50円

逗子海岸

夏も本番を迎え、海水浴のシーズンになりました。逗子海岸の浜辺には海の家が立ち並び、海は海水浴客で賑わいます。都心から1時間ほどで海水浴を楽しめるため、県外からも多数の人が訪れる逗子海岸。

逗子で暮らしていると、生活の中に海があります。静かな波の音、冬の海の様子、夏の海水浴の季節と全く違う海の姿を見ることができます。ちょうど海水浴シーズンに入る前に海岸へ行くと、黒門とびうおクラブの子どもたちが楽しそうに活動をしていました。放課後に海で活動ができるなんて、なんとも贅沢ですね。夏の賑やかな海と、静かで穏やかな海。あなたはどちらの海が好きですか。



※黒門とびうおクラブ=表面のコラム執筆者、永井さんが主催する小学生対象の自然遊びとアウトドアスポーツのクラブ。

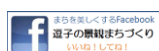
ガイドマップ配布しています☆

逗子市では、ハイキングマップを逗子市役所2階経済観光課で配布しているほか、インターネットからも閲覧できます。

ちょっと歩いてみようかな・そんな気分の中には是非お役立てください☆自然の回廊ガイドマップには、景観資産登録された17箇所も掲載されています。いつもと違う道を歩くと、新たな発見があるかもしれません♪



瓦版編集担当 逗子市環境都市部まちづくり景観課



逗子市 HP やフェイスブックも見てね!

瓦版のバックナンバー・瓦版冊子は逗子市庁舎一階、まちづくり景観課窓口、市民交流センターに配架しています。